

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 臨海副都心モデル撮影会

撮影日 2024年09月29日

審査日 2024年11月09日

審査員: HARUKI先生



金賞
「たそがれ」
鵜飼 典彦 様
モデル ゆいな

審査員：HARUKI先生 講評

ノスタルジックかつ清潔感ある作品です。たそがれ時の表現にはまった時間帯と撮影場所の背景、レンズの選択。そして何よりも素敵なモデルさん！被写体とカメラの間に枝葉をボカして入れたことによって、背景ボケだけじゃない遠近感をとても良く表されています。以前にも書きましたが、こちらのモデルさんは彼女の持っている武器とも言える『和』テイストの中にある透明感のようなモノをとても良く表現されています。和装の衣装でなくても、日本画の中に存在する人物像のようなイメージで、別の可能性を秘めているのではと強く感じます。



銀賞
「激情」
小倉 良二 様
モデル 本多 瑠花

審査員：HARUKI先生 講評

オブジェとオブジェの間から向こう側にいるモデルさんを覗き見るような構成が、まるでサスペンスのワンシーンのようです。表情豊かなメリハリあるモデルさんの視線は何処を追っているのでしょうか？画面の中で美人が怯えているようなシチュエーションがA・ヒッチコックの世界観を想起させますね。でもそれだけじゃない何か別の感情を秘めているように感じられる作品となったのは、モデルさんの目や唇の一瞬の動きを巧く捉えたことにあります。



銅賞
「スマイル」
小幡 大輔 様
モデル 荒木 祐里香

審査員：HARUKI先生 講評

モデルさんの良い意味での“オキヤン”な女性といった仕草が、見ているこちら側を何だかホッコリとさせてくれますね。ご自分でなさったのか、カメラマンからの要望だったのかわかりませんが、いずれにせよ彼女の中に、子どもっぽい明るい要素があるのでしょうか。前回の審査でも入選されていますが、作者の小幡さんの作品には優しさや平和を感じさせるような前向きな要素が多くて素敵です！



入選
「流れ・たたずむ」
石川 玲 様
モデル 本多 瑠花



入選
「いたずらな風」
河村 徳助 様
モデル 本多 瑠花



入選
「赤のゲート」
小野寺 基之 様
モデル 堀口 桜子



入選
「秋色の染まって」
猿田 善和 様
モデル ゆいな



入選
「Splash」
及川 昭夫 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「秋の予感」
荒井 秀雄 様
モデル 逢坂 美華



佳作
「何気なく」
中山 静男 様
モデル 逢坂 美華



佳作
「視線」
松岡 達雄 様
モデル 堀口 桜子



佳作
「WIND」
内藤 勝之 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「待ち人」
池田 道政 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「天使のほほえみ」
金澤 義夫 様
モデル 逢坂 美華



佳作
「残夏の緑に包まれて」
武田 孝文 様
モデル ゆいな



佳作
「1／2の神話」
星野 祐一 様
モデル 堀口 桜子



佳作
「風色の街」
三井 直人 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「素敵な模様の階段」
山本 和彦 様
モデル 堀口 桜子



次点
「銀と緑」
谷川 朗 様
モデル ゆいな



次点
「One step forward」
門間 正之 様
モデル 彩乃 美希



次点
「きりり」
寺島 弘行 様
モデル 本多 瑠花



次点
「おもしろすぎた」
斎藤 貴生 様
モデル 瓦林 桜



次点
「元気印」
井原 亮祐 様
モデル 瓦林 桜



次点
「秋を待つ」
高橋 伸幸 様
モデル 本多 瑠花



次点
「跳ねる」
片桐 研一 様
モデル 逢坂 美華



次点
「お台場の女神さま」
岸野 孝博 様
モデル 本多 瑠花



次点
「ひとやすみ」
島崎 俊也 様
モデル 逢坂 美華



次点
「視線の向こうに」
北条 善久 様
モデル 逢坂 美華

【 前ボケなどの有用性について 】

今回の臨海副都心撮影会では金賞受賞作の前ボケ、銀賞受賞作の場合にも画面手前の〇〇越しに奥にモデルさんを配置するというシチュエーションでした。この2つの受賞作は作品そのものが素晴らしかったので入賞し、たまたま前ボケや被写体前に物がある画面構成だったという結果です。しかし、この手の手法の多くは過剰表現で失敗に終わることが多いので、本当に必要なのか？を熟考してください。ストレートなポートレートを撮ろうとしたが、どうしても何かが足りない。そして、その〇〇の画面への入れ方やボケ方が、効果的になるのかが大切です☆

HARUKI